
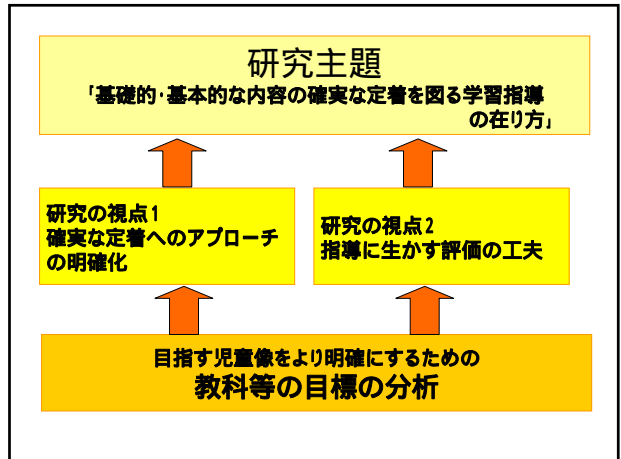


研究主題
 「基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る学習指導の在り方
 ～目標の分析に基づく確実な定着へのアプローチの明確化と
 指導に生かす評価の工夫～」

総合的な学習の時間<小学校>
 第4学年 単元
 「西小倉いきいきライフ!～おじいちゃん・おばあちゃんといっしょに～」



北九州市立瑞水小学校
 教諭 濱田 明美



研究の視点1 確実な定着へのアプローチ

総合的な学習の時間のねらいの分析に基づく目指す児童像の実現のために「このようなねらいに沿って、このような授業を行わなければならない」という教師の思いが、指導の工夫として明確に示されたもの

教材教具の工夫 学習課題設定の工夫
 学習指導過程(展開)の工夫 学習場面の設定の工夫
 など

研究の視点2 指導に生かす評価の工夫

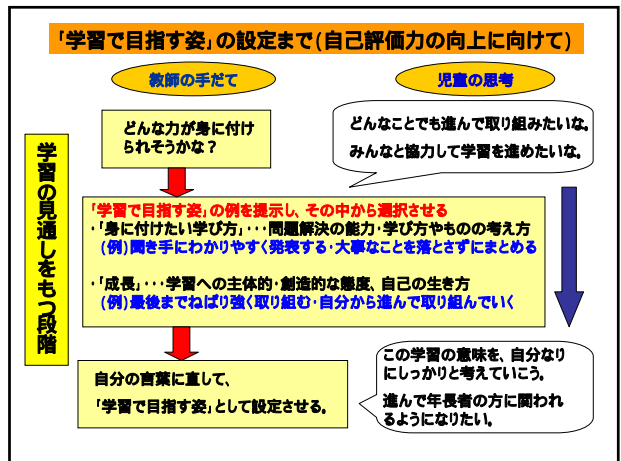
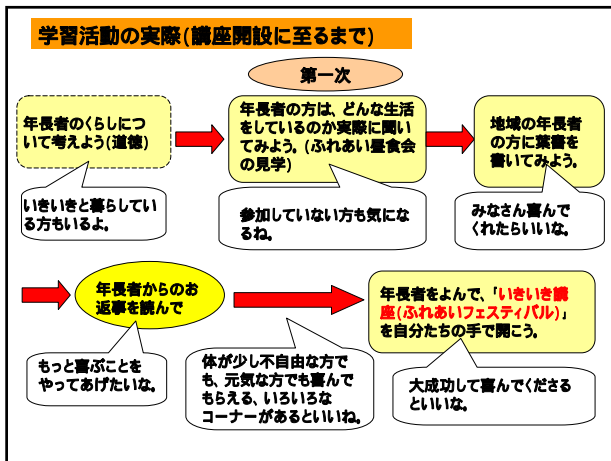
総合的な学習の時間において、はぐみたい資質能力等を踏まえた評価規準及び評価方法を具体化し、児童の学習状況の的確な把握と、その学習状況に応じた適切な指導を可能にするための情報を得る。
 基礎的・基本的な内容の定着が困難な児童にはおむね満足できる状況へ導くためのさらなる手だてを講じる。

小学校総合的な学習の時間のねらいの分析の基盤となる考え

小学校の総合的な学習の時間のねらいの構造的とらえ	<ol style="list-style-type: none"> 1 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力をそだてること。 2 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。 3 各教科、道徳および特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において
--------------------------	---

小学校の総合的な学習の時間を通して育みたい資質能力等(第4学年 福祉分野)

問題解決の能力	学び方やものの考え方	学習への主体的・創造的な態度	自己の生き方
・課題設定 ・追究計画 ・課題追究 ・課題解決	学び方 ・見学 ・インタビュー ・資料の活用 ・施設の利用 ・話し合い ・表現 ものの考え方 ・比較思考 ・関係思考 ・総合思考	・ねばり強い取組 ・積極的な取組 ・発展的な取組	・自己評価力 ・思いやり ・気付き ・生き方・考え方 ・自信




「学習で目指す姿」の例

成長
 どんなことにもチャレンジするようになりたい、
 学習の最後までねばり強くがんばれるようになりたい、
 進んで活動できるようになりたい、
 みんなと協力できるようになりたい、
 友達や年長者の方と進んでかかわるようになりたい、
 自分をしっかり見つめてふりかえることができるようになりたい、
 友達の良いところをみつめられるようになりたい、
 年長者の方の気持ちや、この活動の意味がわかるようになりたい。

第4学年 単元「西小倉いきいきライフ」
 ~おじいちゃん・おばあちゃんといっしょ~より

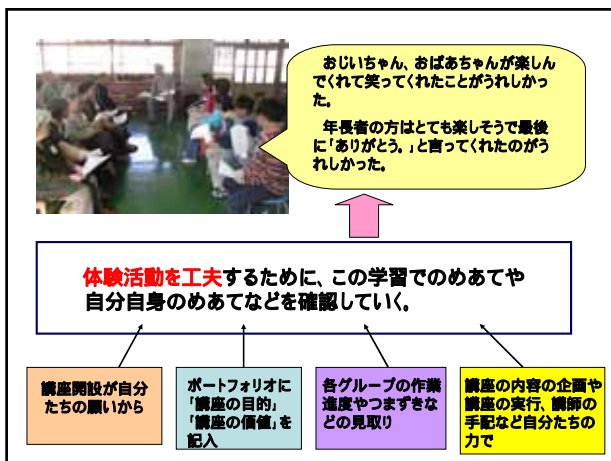
確実な定着へのアプローチに対応した学習活動と評価の実際

(第三次 第9・10時)
 「年長者と一緒に講座を開こう! ~ふれあいフェスティバル~」



この折り紙はこうやって作っていくといいですよ。 → お手玉は子どもの頃、よく遊んだよ。 → 疲れていませんが、気持ちいいですか、

児童が企画・開催した講座
 ・音遊び ・工作 ・パソコン ・ウォーキング
 ・将棋、オセロ ・体操 ・音楽 ・俳句



(第五次 第3時) 「これまでの活動をふりかえろう。」


確実な定着へのアプローチ 1
 ポートフォリオの中から「身に付けた学び方」「成長」「次の学習でがんばりたいこと」などを選んで、ピカピカがやきカードにまとめる。

何を書いたらいいのかな。 → Nさんは、年長者の方とよく話していたね、このページを見たら、その時のことがよくわかるね。

どうまとめたらいかがわからない児童に
 ・ポートフォリオを使って具体的に説明
 ・その児童のよさが現れた場面を紹介

期待する児童の姿
 単元を通して身に付けた学び方や成長、次の学習への意欲などをカードにまとめている。

確実な定着へのアプローチ 2
 グループの友達とピカピカがやきカードを使って、身につけた学び方や成長について話し合う。



発表する児童…「身につけた学び方・成長」とその根拠をポートフォリオと照らし合わせて発表するように助言

発表を聞く児童…「すごいな、頑張っているな、もっとこうしたらいいよ、」という観点で付箋紙にメッセージを書くように助言



期待する児童の姿
 友達の身につけた学び方や成長について認め、付箋紙に励ましのメッセージ(理由をつけて)を書いている。
 自分が身につけた学び方や成長について自覚している。

本単元を通した児童の身につけた学び方や成長(発表・ピカピカがやきカードから)

【身につけた学び方】
 横道紙に大切なことを落とさずにまとめることができた。
 発表するときに、聞く人がわかりやすいように発表して、質問に対してしっかりと答えることができた。

【成長】
 この学習で「年長者の方をもっと気遣おう!」大切にしよう!という気持ちが出てきた。
 どんなことでも、進んで学習することができた。それは、みんなのおかげです。

【次の学習でがんばりたいこと】
 最後まであきらめずにがんばりたい。
 もっと年長者の方が喜んでくれる活動を考えたい。

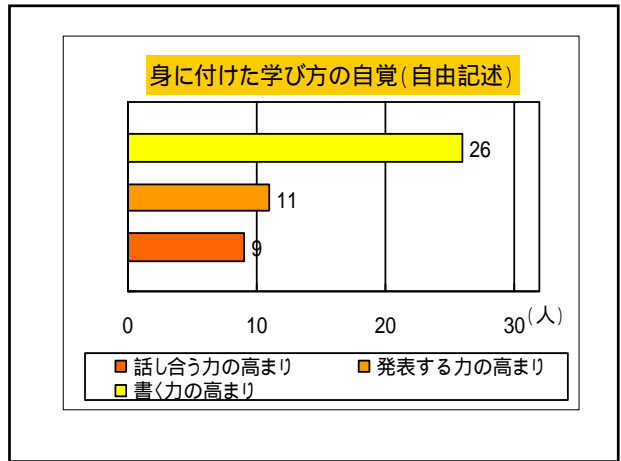
成果～児童の育ちの姿から～

問題解決の能力
 体験活動後、全員の児童が個人の課題を設定することができた。

学習への主体的・創造的な態度
 多くの児童に友達と協力して活動する姿や積極的な態度が見られた。

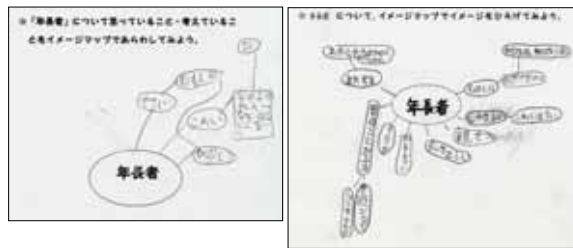
身につけた学び方
 多くの児童が、自分の身につけた学び方を自覚することができた。

自己の生き方
 年長者に対するプラスイメージが増加した。
 自己評価力の向上が見られた。

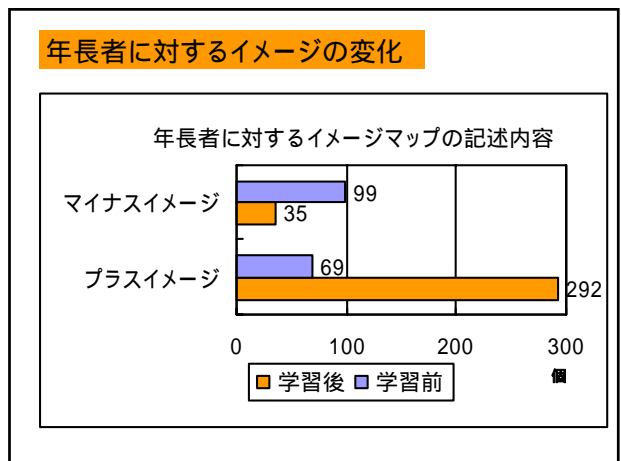


年長者に対するイメージの変化から(S児のイメージマップ)

学習前 → 学習後



※「年長者」について書いていること・書込していることを見てもイメージマップがあらわしてあります。



成果～確実な定着へのアプローチの有効性～

自分の成長や活動の喜びを感じ取らせることにつながる
体験活動の工夫

主体的な問題解決を支える適切な教師のかかわり

自己評価力の向上を目指した「学習でめざす姿」の
明確化と振り返りの重視

成果～指導に生かす評価の工夫について

【教師側】つまずきの予想とその指導・支援ができた。
ポートフォリオから児童の学びを見取ること
ができ、それを指導に生かすことができた。

【児童側】ポートフォリオの工夫により、児童は自分自身
の学びを振り返り、自分の成長を自覚すること
ができた。

課題

さらなる感動体験や成就感を味わわせるための
体験活動の繰り返し

児童の発達段階や学習経験に応じた自己評価
の在り方の研究